

事務事業名 商工会運営支援事業

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策:02 商工業の振興

部名:経済環境部

課名:商工観光課

基本事業:01 商工会活動の充実

計画年度	年度	～	年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民 商工会・商工会員				市内小規模事業者に対する経営相談・指導事業の充実及び商工業の活性化を推進するため、商工業の振興に大きく貢献する商工会への補助金を交付します。							
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）											
商工会が事業展開することにより、会員資質の向上や安定した経営ができるようにし、商工業の活性化を推進します。											
4 活動指標・成果指標・事業費の推移											
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値			
活動指標	商工会運営費補助金額			千円	16,000	15,680	15,366	-			
活動指標											
成果指標	商工会のは把握する商工会加入率			%	56.3	52.4	56.0	-			
成果指標	商工会の実施する経営指導件数			件	3,163	1,869	1,869	-			
事業費				千円	16,000	15,680	15,366				
				うち一般財源	千円	16,000	15,680	15,366			
5 目的妥当性											
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				中小企業の振興を図るうえで商工会の運営費の補助は不可欠であると考えられます。							
6 上位の基本事業への貢献度											
● 貢献度大きい（理由→） ○ 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ○ 基礎的事務事業				商工業の振興を実施していくにあたり、商工会の実施する事業は不可欠であると思われます。							
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討											
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				今後の商工会の組織の在り方についての協議を行っているが、方針が決定されていません。 商工会の組織が決定次第、補助金の見直しをすることが妥当と考えられます。							
8 有効性（成果状況）											
○ あがっている ● どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				商工会実施事業の統廃合等の見直しによる事業費の適正化が必要となります。							
9 有効性（成果向上余地）											
○ 成果向上余地・大 ● 成果向上余地・中 ○ 成果向上余地・小・無し											
10 事業の再編成											
○ 類似の事業があり、再編成できる ○ 類似の事業はあるが、再編成できない ● 類似の事業はない				市の実施する業務と商工会の実施する業務に、同等の業務はないと思われます。							
11 効率性（コスト削減の方法）											
○ ある ● ない				商工会の組織の再編後、調整する必要があると考えられます。							